



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,  
DAIDO CORPORATION HAS  
STEADILY GROWN BY PROVIDING  
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

# Pool Coat<sup>®</sup>

REG.NO.790299

**プールコートNS**

**プールコートNSマイルドAU**

**モルタルプール専用**

# NS

シリーズ

F★★★★認定品

●特許第3607256号●

透湿性の塗膜が膨れを抑える

 SINCE 1932  
**大同塗料株式会社**  
**DAIDO CORPORATION<sup>®</sup>**

## 透湿性の塗膜が膨れを抑える

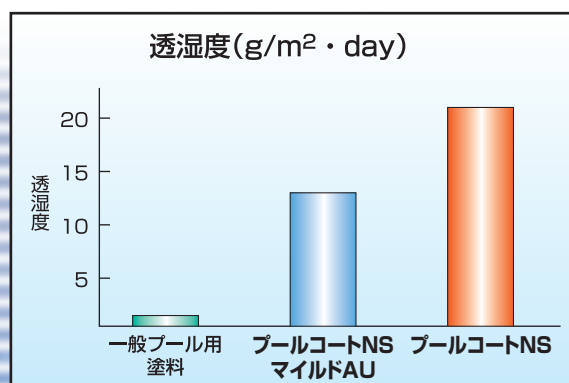
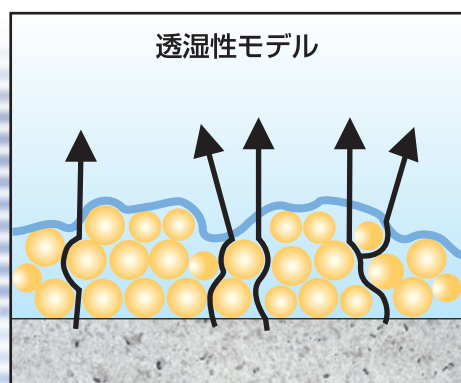
プール内面のコーティングは、水が直接塗膜の表面に触れるという極めて過酷な条件を耐えねばなりません。

私たちは数えきれないほど多くのプールをコーティングしてまいりましたが、常々頭を悩まされてきたのがモルタルプールの背面水による塗膜の「膨れ」現象でした。モルタルという素材は多分に水分を含んでいるケースが多く、水が蒸発しようとする力は到底塗膜で抑える事の出来るレベルではありません。

背面水圧のかかるモルタルプールをコーティングしますと、往々にして水の蒸発しようとする力の為に塗膜が押し上げられて「膨れ」現象を生じてしまいます。

私たちはこの問題を解決すべく「**プールコートNS**」シリーズを開発いたしました。

「**プールコートNS**」シリーズは特殊ビーズを配合し、塗膜に水蒸気の通り道を作ることにより成功した画期的な塗料です。(特許第3607256号)



「**プールコートNSマイルドAU**」は従来のNSより耐塩素剤性を飛躍的に向上させることにより、耐摩耗性も向上し長期の塗膜寿命が見込まれます。

## 特長

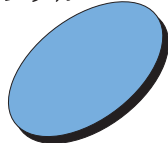
- 1 モルタル素地からの水分を透湿しますので塗膜が「膨れ」にくい。
- 2 塗膜は足裏にやさしい凸凹があり、滑りにくくなっています。
- 3 文部科学省「学校環境衛生の基準」で指摘されている6物質「ホルムアルデヒド」「トルエン」「キシレン」「パラジクロロベンゼン」「スチレン」「エチルベンゼン」の全てについて基準値に適合しています。
- 4 塗膜は上水に対して有害物の溶出がありません。  
(JWWA K139-1992 [塗膜] 溶出試験の規格に合格)
- 5 ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆ (規制対象外) 認定品です。  
(日塗工 登録番号D01069)

	プールコートNSマイルドAU	プールコートNS
系統	弱溶剤形3液タイプ(主剤: 硬化剤: 骨材)	弱溶剤形1液タイプ
学校環境衛生の基準	適合	適合
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
透湿度(g/m <sup>2</sup> ・day)	10.0以上	15.0以上
鉛筆引っかき値	H	HB
耐塩素剤性(1ヵ月浸漬)	異常なし(次亜塩素酸ソーダ1,000ppm)	やや白亜化(次亜塩素酸ソーダ100ppm)
耐水性(水浸漬)	2ヶ年異常なし	1ヶ年異常なし

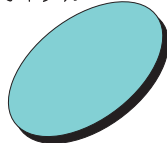
プールコートNSは透湿性に優れています。

プールコートNSマイルドAUは透湿性と耐塩素剤性や耐候性など耐久性を兼ね備えたプール専用塗料です。

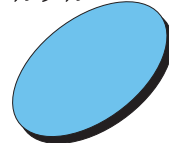
マリンブルー



ライトスカイブルー



パステルブルー



白



### COLORS

コースライン色 黒/DNo.807/DNo.808/DNo.145/白

注) 色見本は印刷のため色調が異なります。  
プールコート標準色見本帳をご参照下さい。  
プールコートNSシリーズの調色はできません。

### 標準塗付量 及び塗装面積

	プールコートNSマイルドAU	プールコートNS	プールセメントW速乾型
容量	17kgセット(主剤9kg、硬化剤2kg、骨材6kg) 4.25kgセット(主剤2.25kg、硬化剤0.5kg、骨材1.5kg)	16kg、4kg (1液型)	35kgセット (主剤5kg、硬化剤5kg、骨材25kg)
塗付量	下塗 0.10~0.12kg/m <sup>2</sup>	下塗 0.13~0.15kg/m <sup>2</sup>	下地調整Ⅰ 0.8~1.0kg/m <sup>2</sup>
	上塗 0.12~0.14kg/m <sup>2</sup> /回	上塗 0.15~0.20kg/m <sup>2</sup> /回※1	下地調整Ⅱ 0.6~0.8kg/m <sup>2</sup>
塗装面積	42~50m <sup>2</sup> /17kgセット(3回塗り)	29~37m <sup>2</sup> /16kg(3回塗り)※1	19~25m <sup>2</sup> /35kgセット(2回塗り)
塗装方法	はけ、ローラー、エアレス吹付け	はけ、ローラー、エアレス吹付け	コテ
乾燥時間	3時間(23℃)	3時間(23℃)	4時間(23℃)※2

※1 素地がプールセメントW速乾型の場合は、0.12~0.14kg/m<sup>2</sup>/回で、37~43m<sup>2</sup>/16kg(3回塗り)となります。

※2 「プールコートNS」シリーズを塗装する場合の塗装間隔は2日以上(23℃)です。

**Pool Coat**<sup>®</sup>  
REG.NO.790299

## ● プールコートNS マイルドAU塗替塗装仕様

### ■ 旧塗膜の除去により凹凸ができた場合(施工システム RC-326)

工程	品名(配合比)	希釈剤希釈率(%)	塗回数(回)	塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装方法	塗装間隔(23℃)
素地調整	●旧塗膜を動力工具、剥離剤などを用いて全面除去します。除去後は高圧水洗により清浄にし、素地を十分に乾燥させます。 ●クラック部処理 1mm未満 エポパテ速乾型Nやハイポンド#100をパテ付けし、直後に7号硅砂を散布します。 1mm以上 Uカット後、可とう性エポキシにて処理し、直後に7号硅砂を散布します。					
下地調整Ⅰ	プールセメントW速乾型 (主剤:硬化剤:骨材=1:1:5)	清水 1~3	1	0.8~1.0	コテ	8時間以上 14日以内
研磨	サンダー、ポリリッシャー等で平滑にします。					研磨後
下地調整Ⅱ	プールセメントW速乾型 (主剤:硬化剤:骨材=1:1:5)	清水 1~3	1	0.6~0.8	コテ	2日以上 1ヶ月以内
研磨	サンダー、ポリリッシャー等で平滑にします。					研磨後
下塗	プールコートNSマイルドAU (主剤:硬化剤:骨材=9:2:6)	プールコートマイルドシンナー 20~40	1	0.10~0.12	はけ ローラー	5時間以上 7日以内
上塗	プールコートNSマイルドAU (主剤:硬化剤:骨材=9:2:6)	プールコートマイルドシンナー 15~20	2	0.12~0.14	はけ ローラー	5時間以上 7日以内
コースライン	プールコートNSマイルドAU (主剤:硬化剤:骨材=9:2:6)	プールコートマイルドシンナー 15~20	1~2	0.12~0.14	はけ ローラー	

塗装後注水までの 最低養生日数	気温	10℃	20℃	30℃	※下地に凹凸が少ない場合は、プールセメントW速乾型を省略することができます。
	日数	10日以上	7日以上	5日以上	

### ● 注意事項

- 剥離剤を使用した際にはヘラなどで剥離剤をできるだけ取り除いた後、十分に水洗し、更に入念に脱脂をして完全に除去して下さい。
- モルタルに浮きがある場合はハイポンド#100による樹脂注入又はアンカーピンニング注入を行い、素地を補強して下さい。また、激しい浮きの場合はハツリ取り、フィールドGRC-Lやダイドレージモルなどで埋め戻して下さい。
- プールセメントW速乾型は素地が乾燥しすぎていると樹脂分が吸い込まれて適切な塗膜が形成されません。事前に打ち水をして素地を濡らしてから施工して下さい。
- 不陸調整後は適切な塗膜養生期間を経てからサンディングによってバリや突起を除去して次工程に進んで下さい。
- 下地調整Ⅰは、モルタルの凹凸が特に激しい場合や、塗付後直ぐに膨れが発生する場合にはプールセメントW速乾型(1セツト)に6号硅砂を10~15kg追加して、塗り広げて下さい。
- プールコートNS マイルドAUは3成分型となっています。まず、主剤と硬化剤を9:2(重量比)の割合で混合してから有機骨材を電動攪拌機で攪拌しながら混入して下さい。塊が残らないように注意して下さい。
- プールコートNS マイルドAUだけでも防滑(ノンスリップ)効果はありますが、さらに滑りにくくする場合は上塗り1回目塗装直後、直ちに6~7号硅砂を散布(0.1~0.2kg/m<sup>2</sup>)し、1日以上乾燥後余分な砂を除去してさらに上塗り2回目を塗装します。

### ● 下記のような場合、塗装は原則として避けて下さい。

- 気温が5℃以下の時や、湿度が非常に高い時
- 降雪雨時、あるいは塗料の乾燥する前にその恐れのある時。
- 強風下、塵埃の多い時。
- 炎天下、素材表面の温度が高く、塗膜に泡を生じる恐れのある時。

## ⚠ 注意

- 塗料に特殊ビーズが入っていますので、多少塗りムラが出る場合があります。塗装作業中に「タマリ」ができたり、ローラーの塗り継ぎが厚くなりますと乾燥時にそこが白っぽく仕上がります。できるだけ「タマリ」やローラーの塗り継ぎの出ないように塗装して下さい。
- 「プールコートNS」シリーズは塗膜の「膨れ」現象を抑制する画期的な塗料ですが、素材のモルタルの水分含有量が著しく多かったり、その他悪条件が重なった場合には「膨れ」「剥離」等の不具合が起こるケースがあります。
- プールコートNSマイルドAUの主剤は開缶時に寒天状になっていますが、攪拌すれば流動性ができます。
- 室内プールなどでは、塗膜の脱色や白亜化現象が早期に発生する場合がありますので、プールコートスペシャルAUクリヤー仕上げ、Fクリヤー仕上げ工法などをご採用下さい。尚、遊泳プールの遊離残留塩素濃度の水質基準は0.4~1.0mg/l(ppm)です。
- 日焼け止め等が付着した手や水着で塗膜にふれますと塗膜の色が手や水着に付きやすくなる場合があります。

### ● シーズン前のプールの水洗方法 ●

- プール掃除の一週間位前にプールを満水の状態にし、プール水100m<sup>3</sup>に対して塩素剤(有効塩素100%として)2.6kg投入し、藻類を死滅させて下さい。(固形塩素剤の直接投入は絶対に避けて下さい)
- 排水時に残留塩素濃度を0.4ppm以下に調整して下さい。(残留塩素濃度を1ppm下げるのに必要なチオ硫酸ナトリウム【ハイポ】の量は、プール水100m<sup>3</sup>に対し350gです。必要量を予めポリ容器にとり、溶解してから出来るだけ均一に投入して下さい。)なお、プール水は洗い用として10cm位残して下さい。
- プール壁面に「プールコート清浄剤」を、はけ、ブラシ、ローラー、モップ等で塗り広げて下さい。(90~100m<sup>2</sup>/16kg)
- 5~10分間放置後、水洗いして下さい。タワシ、スポンジ等の併用をお勧めします。
- 底面は流しながら洗浄して下さい。不十分な場合は壁面と同じように「プールコート清浄剤」で処理して下さい。